
エルデ

アニキ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

エルデ

【コード】

N0212J

【作者名】

アニキ

【あらすじ】

幼馴染の二人の話です

くろちゃーん、くろちゃーん

まだ眠い中、なんか聞いたことあるような声

が外から響いた

眠たい目をこすりながらカーテンを開けるとくろくろがそとからにっこりしながら呼んでいた

くろちゃーん、今日から学校だよ早く玄関開けてー朝ごはん作るからー

俺の名前は遠藤黒で今俺のことを呼んでいたのが白亜くろくろって言うんだ

俺たちは幼馴染で家がすぐとなりでいつも学校もいっしょに行っていたんだ

おー今あけるから待ってる

階段をどたとた言わせて下りて玄関をあけたら

くろくろが台所に向かって走った

っで今日は何を作ってくれんだ？

今日はねえー

味噌汁とご飯とアジの塩焼きだよ

こいつの作る料理はすごくろくろ

はい召し上げね

いただきますー

どう？おいしい？

ああすごくろくろ

ほんと！？うれしいー

笑顔で俺を見たほんとにうれしそうにしていた

ごちそうさん、飯も食い終わったから

学校に行くか

うん

確か同じクラスだったよな
うんそうだよ

くろちゃんと同じクラスだったらお昼ご飯を食べれるしお話もでき
て毎日が楽しい

ちよつと頬を赤くした

どうしたの？顔赤いよ？

熱でもあるの？

お前がそんなこと言うからとれとるとは言えない・・・

ねーよ

またしゃべりながら学校に向かった

今日は始業式だけだったからすぐに帰れる

暇だ・・・

そつだくつつとどこかに行こう！

俺はくうのところに行つて

今日の予定を聞いたら

いいよ、どこに行く？

久しぶりにお前の家に行つていいか？

いいけど・・・散らかっているよそれでもいいならいいよ

じゃあ何時くらいにいけばいい？

うーん何時にしようか

つと悩んでいる時にいいこと考えた

なあお前の家つて今日、家族いるか？

と聞いた

あー言い忘れてた私、一人暮らしだから

何〜!!!!!!

聞いて驚いた

絶対、一人暮らしなんて出来ないだろうと思ってた

じゃあ・・・遊ぶ時間はいつでもいいと

いいよ

マジ？

マジでーす

じゃあ今日昼飯ごちそうになっただけいいか？

多分、無理だろうと思って冗談半分で言ってみたら
全然いいよ

マジ？

じゃあ今日直で行くわってか一緒に帰ろうぜ

うん、いいよ

そして、学校を出た

続く

(後書き)

どうもアニキです

初めて恋愛小説を書きました

これからもがんばりたいので

応援よろしくお願いします>w<)

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0212j/>

エルデ

2011年1月25日08時45分発行